



IT Holdings

第2期営業のご報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

Business Report

ITホールディングス株式会社

証券コード：3626

Profile

プロフィール

ITホールディングスグループは、2008年4月に誕生した業界2位グループの総合IT企業集団です。幅広い業種に強みをもつTIS、インテック、ソラン、クレジット・信販業に強みを持つユーフィット、BPOビジネスのリーディングカンパニーであるアグレックス、製造業に強いクオリカ、製造・医療関連に強いAJSの主要7社を中心として、それぞれ個性を持った企業群で構成されています。各社が個性を伸ばしながらグループ総合力を発揮し、高い競争力をもって常に進化し続けるIT企業グループを目指し、第一次中期経営計画「IT Evolution 2011」を推進・実践しています。

Contents

プロフィール	1
株主のみなさまへ	2
ITホールディングスグループの中期的成長に向けた重点施策の進捗状況	3~4
ニューズピックス	5~6
連結財務諸表のポイント	7~10
ITホールディングスグループフォーメーション	11
会社概要	12
株式の状況	13
株主メモ	14

(注)記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株主のみなさまへ

株主のみなさまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第2期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当期の情報サービス業界の事業環境は、日銀短観におけるソフトウェア投資額の当年度計画が前年度を大きく下回る水準で推移するなど、景気の低迷や企業収益の厳しさを背景としたIT投資への慎重姿勢や抑制の動きなどから厳しい状況となりました。当グループにおいても、金融業や製造業ユーザーを中心としたIT投資抑制の影響を受け、特に大型システム開発への慎重姿勢が受注活動に大きく影響しました。

こうした環境のなか、当グループでは中期経営計画に基づき、グループ各社と連携した営業提案活動の強化や技術革新に伴う重点施策に取り組んでまいりました。営業提案活動の強化では、共同受注件数が前期の4倍まで拡大するなど、一定の成果を得ることができました。また、技術革新に伴う重点施策においては、システムのサービス化をにらみ、次世代型データセンターの構築やクラウドサービスのラインナップ強化に取り組んでまいりました。緊急対策としてさらなるコスト削減にも注力してまいりましたが、大型案件の終了とIT投資抑制の影響などにより、減収減益となりました。

今期(第3期)も引き続き厳しい環境が予想されますが、ソラン株式会社のグループ化をてこに、さらなる技術・ノウハウの相乗効果と規模拡大のメリットを追求してまいります。一方で、グループ経営の基盤強化、経営効率化のための施策も進め、下期以降に予想される景気の回復をとらえIT投資需要を確実に発掘し、業績の向上に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役会長

代表取締役社長

中尾 雄 岡本 晋

ITホールディングスグループの中期的成長に向けた重点施策の進捗状況

ITホールディングスグループは2009年度～2011年度を計画年度とした第1次中期経営計画「IT Evolution 2011」を推進しています。これは、経営統合の成果を早期に創出するとともに、中期的には、クラウド化の進展などによる、「受託開発(作る)」から「サービス(使う)」へのビジネスモデルの変革などIT業界を取り巻くパラダイムシフト(大きな環境変化)に対応するためのものです。

ここでは、統合2年目を迎えての重点施策の進捗状況と今後の取り組みについてご説明します。



事業拡大への取り組み

当期(2009年度)は、12月に技術・ノウハウの相乗効果による企業価値の向上を目指して、東証一部のソラン株式会社(2010年3月29日上場廃止)を新たに子会社化しました。

■ 既存事業の拡大

グループ各社が協業して顧客開拓を行う「共同受注活動」については、受注案件数を前期の29件(24億円)から、121件(54億円)へと大きく伸ばすことができました。

「顧客業界内シェア」の拡大に向けては、グループ内での「業界業種検討会」の開催や、各社の商材の紹介と情報交流を図るための「ソリューションフォーラム(グループ内覧会)」の実施を通じて、顧客とマーケットへのアプローチの深耕を継続的に行っています。

■ 次世代データセンター事業の構築

事業のサービス化に備えたデータセンターの構築: 拡大では、今期に入り、4月に中国・天津のデータセンターが稼働しました。7月には富山県高岡市のデータセンターも稼働する予定です。来期には、現在、品川区御殿山に建設しているGDC御殿山、さらに北陸電力株式会社と株式会社インテックが合同で設立した株式会社パワー・アンド・ITのデータセンターが稼働する予定です。

■ 新規事業の展開

当グループのクラウドサービスは、金融・製造・流通などのさまざまな業界でのシステム開発やアウトソーシングの実績を活かし、業界／業務特化型、共通サービス型など約30種類のオリジナルのクラウドサービスを提供しています。今後は、当社が順次整備を進めている省エネ技術を活用した環境志向型次世代データセンターをベースに展開していきます。

■ 海外事業への取り組み

当期は、TIS株式会社がベトナムに駐在員事務所を開設しました。また、ソラン株式会社がグループに参画したことで、今期以降は、同社が拠点を持つ中国・北京、天津地域での事業連携を進めていく計画です。また、当期6月に業務提携したBT社（英国）との共同事業の準備期間を経て、今期は本格的なジョイントセールスを展開する計画です。

■ 経営の効率化への取り組み

経営の効率化では、まずグループ内で資金を効率よく調達・運用するために、CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）を導入しました。

福利厚生基盤を整備するため4月に新たにグループ健康保険組合を設立しました。コミュニケーション基盤として、当期にグループSNS*を導入し、現在すでに約2,500名のグループ社員

が参加し情報交流を行っています。その他、バックオフィス業務の共有化、情報システムの統合企画、グループフォーメーションの最適化などを前期に引き続き推進し、グループ経営の基盤強化・効率化に注力しています。

Column

ソランってどんな会社？

ソラン株式会社は、1970年、長野県松本市で株式会社松本計算センターとして設立されました。独立系ソフト開発会社としてM&A（企業の買収、合併）を事業拡大の戦略に据え、1997年には株式会社スタットと合併、その後の旧長銀情報システム株式会社や日本タイムシェア株式会社などへの数々の出資や合併を経て現在のソラングループを形成しています。

金融、製造、通信、公共など幅広い業種に展開しており、ユニークなところでは、人工衛星の運用管制システムの開発も手がけています。

■ 所在地
東京都港区

■ 連結売上高
46,985百万円
(2010年3月期)

■ グループ従業員数
4,318名
(2010年3月31日現在)

■ 代表取締役社長
千年正樹

ソラン本社



*SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）：コミュニティ型のWebサービス。社員同士の交流をスムーズに行うためのツール。

ITホールディングスグループのニュースをピックアップしてご紹介します。

旭化成の「あさひの森」でAJSとAJSSが植林活動を実施

AJS株式会社*と株式会社AJSソフトウェア(AJSS)は、旭化成株式会社が宮崎県北部で行っている森林保護活動「あさひの森」に協賛し、3月14日、植林活動を行いました。当日は、AJS、AJSS、旭化成グループの従業員や家族など総勢410名が参加。1ヘクタールの土地にケヤキやヤマザクラ、モミジなど3,000本の苗木を植林しました。この植林活動では、今後10年間にわたり、残りの植樹と植林地の整備を行っていく予定です。

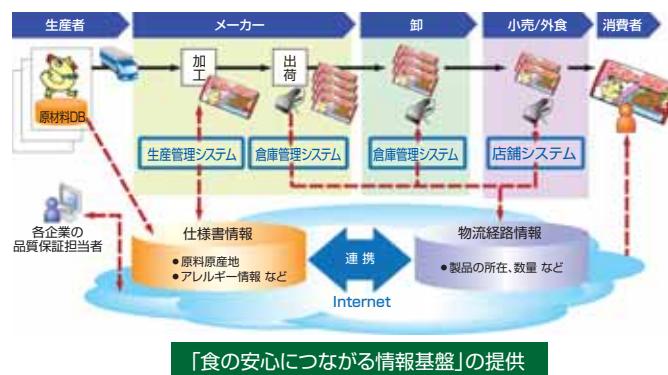
*出資比率：ITホールディングス 51.0% 旭化成 49.0%



AJS、AJSSからの参加者

インテック、食の安心につながる情報基盤「i-TRe(アイトレ)」提供開始

株式会社インテックは、食品流通業界向けのクラウド型トレーサビリティサービス「i-TRe」の第一弾として、製品仕様書情報の共有化サービスの提供を4月に開始しました。これは、同社がこれまで培ってきた流通業界の企業間情報交換における経験とノウハウを活かし、食品の提供者が消費者への説明責任を果たすために必要な、食品に関する情報の収集・管理と、食品の流通履歴を把握する仕組みを提供するものです。



「i-TRe(アイトレ)」概念図

『天津濱海高新IDC』が全面開業へ

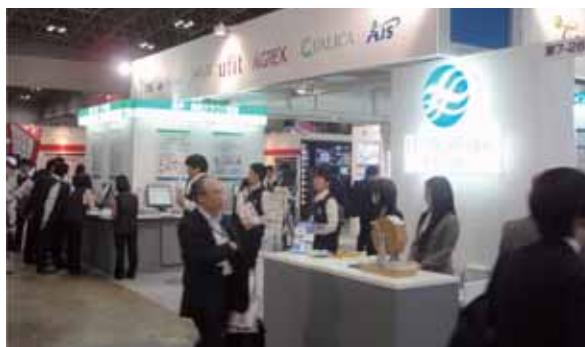
TIS株式会社の関連会社である天津提愛斯(TIS)海泰信息系統有限公司は、4月17日、中国天津市で「天津濱海高新インターネットデータセンター」を全面開業しました。濱海高新IDCは、TISが日本で培ってきたデータセンターの構築・運営ノウハウを活かし、日本と同等の高セキュリティ・高品質なサービスを提供できるデータセンターです。同センターの開業にあたっては、2月に香港・シンガポールに拠点を置くパックネット社の中国合弁会社と業務提携しており、ネットワーク分野での技術協力と共同の営業展開を進めています。



開所式

ITホールディングスグループ、『第1回クラウドコンピューティングEXPO』に出展

5月12～14日に東京ビッグサイトで『第1回クラウドコンピューティングEXPO』が開催されました。ITホールディングスグループからはTIS、インテック、インテックシステム研究所、ソラン、ユーフィット、アグレックス、クオリカ、AJSの8社が出展し、ブースでは各社が保有するクラウドコンピューティングに関するソリューションサービスを紹介しました。



▶ 他のITHDニュースは、当社ホームページ(<http://www.itholdings.co.jp/news/>)をご覧ください。

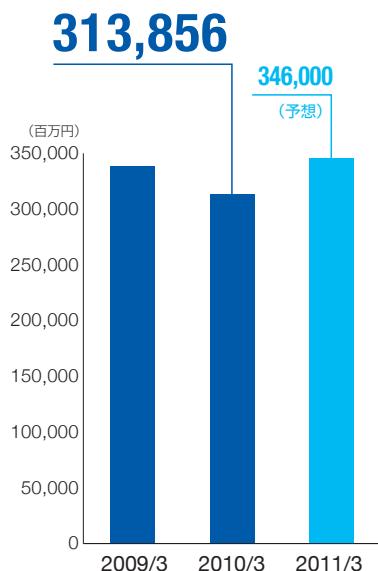
連結財務諸表のポイント

決算ハイライト

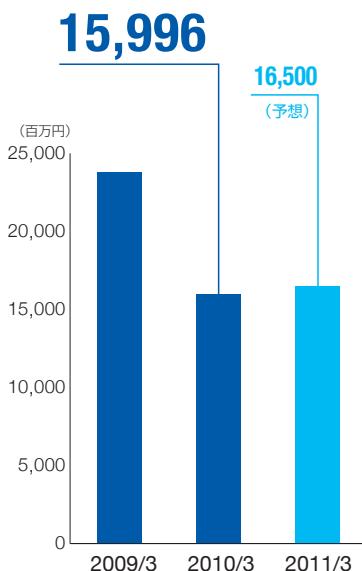
2009年12月に子会社化したソラン株式会社の業績が反映されましたが、売上高については、前期に大型案件が終了したほか、お客様のIT投資抑制の影響が大きく、前期比7.2%減の3,138億円となりました。

利益については、内製化の推進や経費削減などに努めましたが、売上高減少の影響により、営業利益は前期比32.8%減の159億円、当期純利益は前期比18.6%減の76億円となりました。

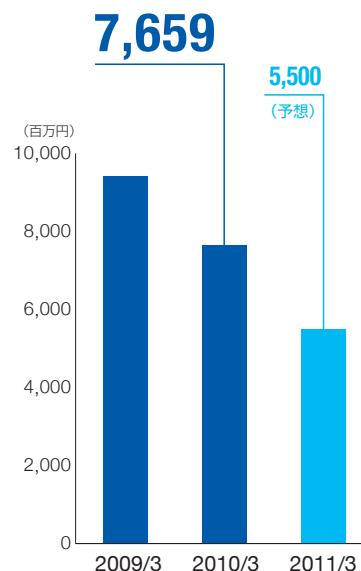
売上高



営業利益



当期純利益



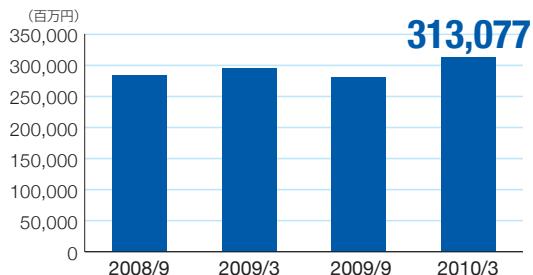
第一次中期経営計画 「IT Evolution 2011」の取り組み状況

- 「サービス化」「グローバル化」の環境変化を見据え「グループ事業シナジー」で挑む計画を着実に遂行(P3-P4参照)
- 売上高4,000億円、ROE10%の目標に向けた挑戦

今期予想のポイント

- グループ事業シナジーを活かし増収、増益(営業・経常利益ベース)を計画
- 当期純利益の減益予想は、資産除去債務(今期より導入された新会計ルールによる一過性の要因)22億円(特別損失)の影響

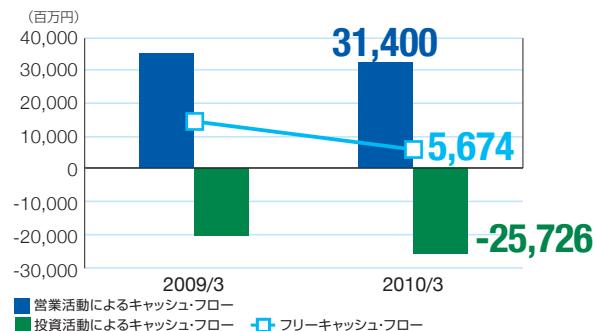
総資産



1株当たり純資産額 / 自己資本比率

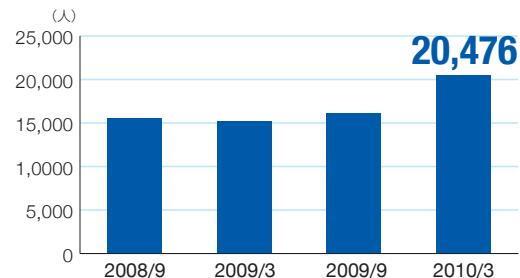


営業活動によるキャッシュ・フロー 投資活動によるキャッシュ・フロー / フリーキャッシュ・フロー

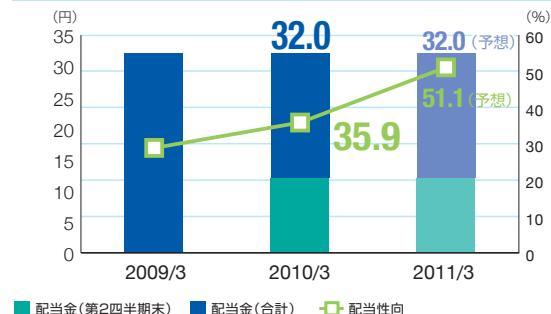


■ 1株当たり純資産額(左軸) □ 自己資本比率(右軸)

従業員数



配当金 / 配当性向



株主還元方針

株主のみなさまへの長期的かつ総合的な利益還元を重要な経営課題と認識し、業績動向や財務状況、事業発展に備えるための内部留保の充実を勘案しつつ、安定的な配当を継続するよう努めています。当期は、年間配当32円(うち中間配当12円)となりました。

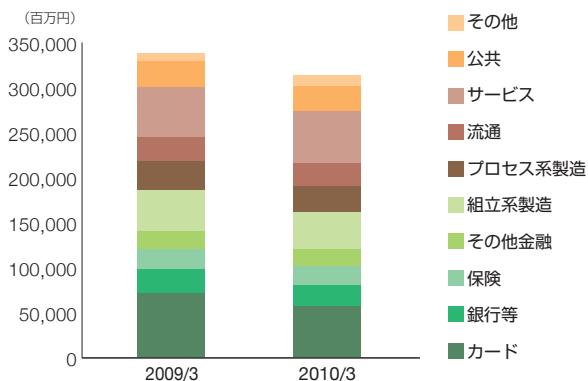
損益計算書ハイライト

	前期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	当期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	増減率 前期比
売上高	338,302	313,856	△7.2%
営業利益	23,787	15,996	△32.8%
経常利益	23,604	15,719	△33.4%
当期純利益	9,406	7,659	△18.6%
売上高営業利益率	7.0%	5.1%	
1株当たり当期純利益（円）	110.74	89.25	

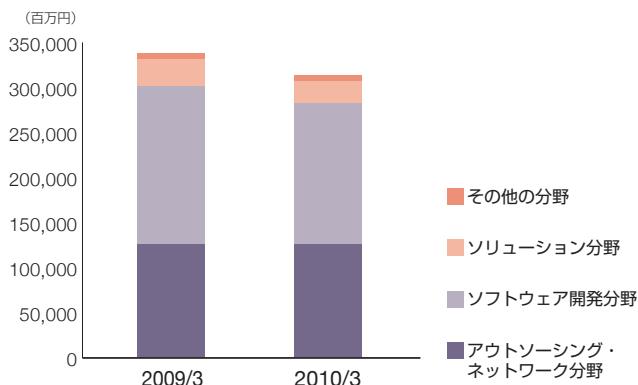
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

平成21年12月に子会社化したソラン株式会社の業績が第4四半期分に反映されましたが、IT投資抑制の影響のほか、前期中に大型案件が終了したことにより、ソフトウェア開発分野やハード製品の販売を行うソリューション分野を中心として減収になりました。

顧客事業分野別売上高



事業分野別売上高



貸借対照表ハイライト

	(百万円)		
	前期末 平成21年3月31日	当期末 平成22年3月31日	増減率 前期末比
流動資産	140,799	141,967	0.8%
固定資産	154,527	171,109	10.7%
流動負債・固定負債	149,110	158,001	6.0%
純資産	146,216	155,075	6.1%
総資産	295,327	313,077	6.0%

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

大型案件の終了に伴う売掛金の減少などがあったものの、ソラン株式会社の連結化による現金及び預金の増加などにより流動資産は増加しました。

ソラン株式会社の買収による借入金の増加などにより流動負債・固定負債は増加しました。

キャッシュ・フロー計算書ハイライト

	(百万円)		
	前期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	当期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	増減額 前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,311	31,400	△2,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,079	△ 25,726	△5,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,877	6,139	13,016
現金及び現金同等物の期末残高	35,104	46,987	11,883

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

今期の見通し

環境的には当面厳しい状況が見込まれますが、各事業会社の事業連携とシナジー効果の創出をはかるとともに、下期以降に予想される景気回復に伴うIT投資需要を的確にとらえた事業展開と経営体質の強化に向けた取り組みにより増収を計画しています。なお、当期純利益については、資産除去債務による特別損失22億円の影響を考慮し減益の見通しです。

▶より詳細な財務情報は、当社ホームページ(<http://www.itholdings.co.jp/investors/>)をご覧ください。

ITホールディングス グループフォーメーション

(平成22年3月31日現在)

国内



主要事業会社名	連結子会社		事業内容
	国内	海外	
TIS株式会社	1	3	金融・製造・サービスなどに幅広く展開。基幹系システムの開発からデータセンターサービスまでワンストップで提供。
株式会社インテック	14	0	金融・製造・流通・医療・公共など多様な業種に強み。コンサルティング、開発から運用、ネットワークサービスまでトータルで提供。
ソラン株式会社	11	3	金融・製造を中心に通信、公共とバランスよく展開。宇宙システム開発も。
株式会社ユーフィット	2	0	クレジットカード、信販などに強み。運用中心。
株式会社アグレックス	6	0	日本のBPOビジネスのリーディングカンパニー。東証第一部上場(4799)
クオリカ株式会社	0	2	製造業、流通・サービス業に強み。
AJS株式会社	1	0	製造業・医療関連分野に強み。

海外

英特克信息技术(武漢)有限公司(インテック武漢)

高律科(上海)信息系统有限公司(クオリカ上海)

TIS R&D Center, Inc.

提愛斯数碼(上海)有限公司(TISI上海)

TKSOFT SINGAPORE PTE. Ltd.

天津市雷智信息技术有限公司(天津市雷智)

天津索浪数字软件技术有限公司(天津ソラン)

天津提愛斯海泰信息系统有限公司(天津TIS海泰)

北京索浪计算机有限公司(北京ソラン)

※ITホールディングスグループは、ITホールディングス株式会社および上記を含む子会社、関連会社等全82社で構成されています。

会社概要

概要

(平成22年3月31日現在)

商号	ITホールディングス株式会社 IT Holdings Corporation
設立	平成20年4月1日
事業内容	グループ会社の経営管理ならびに それに付帯する業務
資本金	100億円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部上場（証券コード：3626）
グループ従業員数	20,476名（従業員数は就業人員です）

役員

(平成22年6月24日現在)

代表取締役会長	中尾 哲雄
代表取締役社長	岡本 晋
取締役副社長	前西 規夫
取締役副社長	滝澤 光樹
取締役相談役	北川 淳治（ソラン株式会社 代表取締役会長）
取締役	藤宮 宏章（TIS株式会社 代表取締役社長）
取締役	金岡 克己（株式会社インテック 代表取締役社長）
取締役	千年 正樹（ソラン株式会社 代表取締役社長）
取締役	小田 晋吾
取締役	石垣 禎信
常勤監査役	土家 瑞生
常勤監査役	林 唯政
監査役	伊藤 醇（公認会計士・税理士 伊藤醇事務所 代表）
監査役	武内 繁和（武内プレス工業株式会社 代表取締役社長）

※1：取締役 小田晋吾氏および石垣禎信氏は、社外取締役です。

※2：監査役 土家瑞生氏、伊藤醇氏および武内繁和氏は、社外監査役です。

事業所

東京本社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル TEL(03)6738-8100 FAX(03)3503-2551
富山本社	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 TEL(076)444-8011 FAX(076)444-8012

(注)平成22年6月24日付にて、登記上の本店は上記東京本社に変更となりました。



東京本社



富山本社

株式の状況

(平成22年3月31日現在)

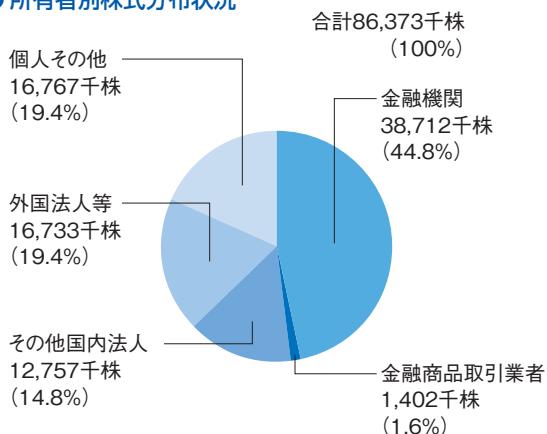
● 発行可能株式総数 280,000,000株

● 発行済株式の総数 86,373,919株

(注)ソラン株式会社との株式交換による新株発行により、平成22年4月1日付で1,415,179株増加し、87,789,098株となっています。

● 株主数 17,038名

● 所有者別株式分布状況



● 大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,812	10.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,621	6.5
日本生命保険相互会社	2,591	3.0
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,811	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,666	1.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,654	1.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,598	1.9
ITホールディングスグループ従業員持株会	1,573	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,549	1.8
株式会社大林組	1,161	1.3
株式会社ジェーシービー	1,161	1.3

▶ ホームページのご案内

ITホールディングスに関する様々な情報は、ホームページでご覧いただけます。

ITホールディングスのホームページでは、株主・投資家のみならず、最新の情報や財務関係資料など、お役に立つ情報をお届けしています。

<http://www.itholdings.co.jp/>



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 3月31日
(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。)

配当金支払株主確定日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
公告の方法 電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由のため電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
電子公告掲載URL
<http://www.itholdings.co.jp/pn/>

単元株式数 100株

株主名簿管理人および 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話0120-232-711 (通話料無料)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式（1～99株）については市場で売買することができませんが、口座管理機関を通じ、当社に対して**買取請求（売却）**または**買増請求（購入）**をすることができます。お手続きの方法等については、口座管理機関（証券会社等）*にお問い合わせください。

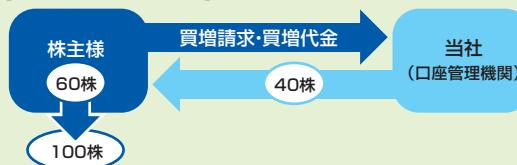
*特別口座に記録されている株式については、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお問い合わせください。

（例）株主様が60株ご所有の場合

【買取請求（売却）の場合】



【買増請求（購入）の場合】



●特別口座をご利用の株主様へ

特別口座に記録されている単元株式については、特別口座のままでは売却できません。株式の売却等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めします。なお、お手続きの方法等については、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお問い合わせください。



IT Holdings

ITホールディングス株式会社

東京本社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル TEL(03)6738-8100 FAX(03)3503-2551

富山本社 〒930-0856 富山市牛島新町5-5 TEL(076)444-8011 FAX(076)444-8012

<http://www.itholdings.co.jp/>



ITホールディングスグループ